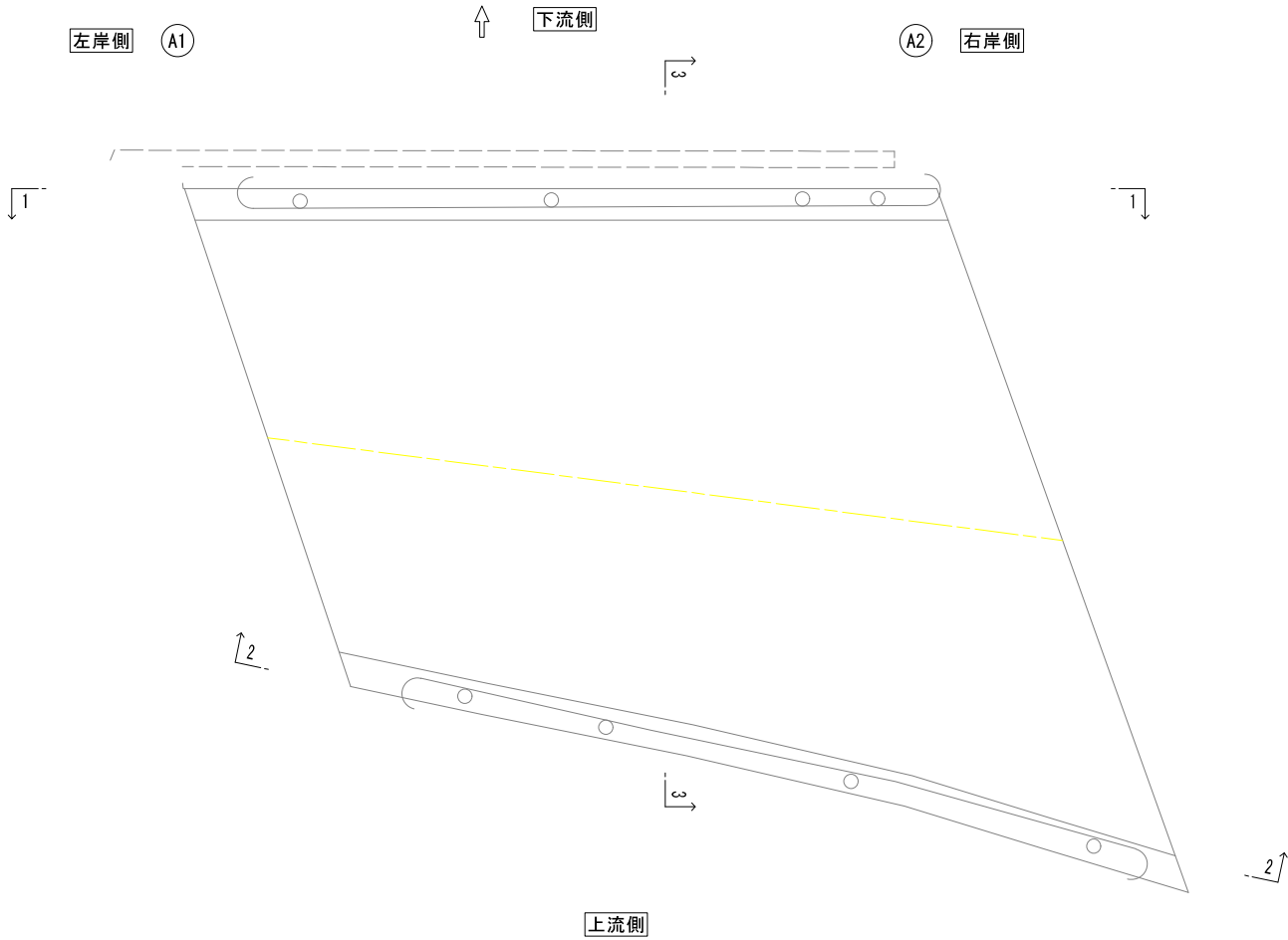


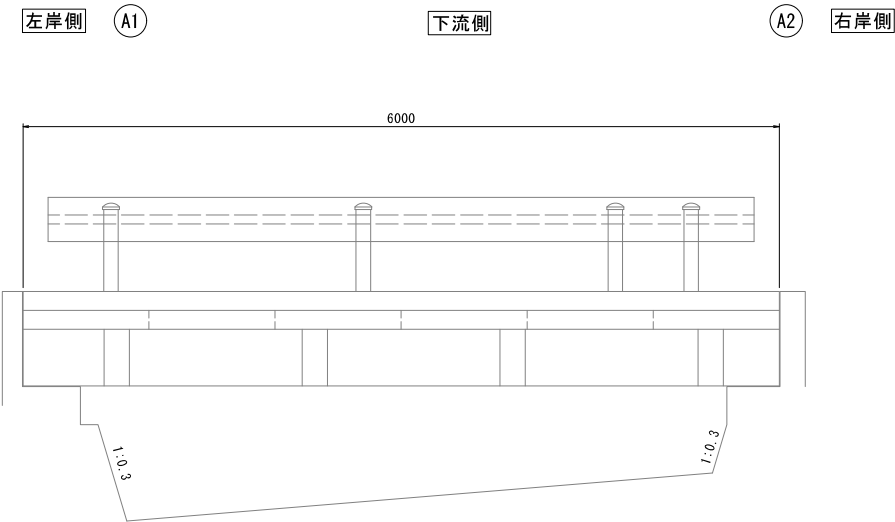
四日市橋 既設橋梁一般図(その1)

設計条件	
路線名	四日市3号線
橋 格	車道橋
上部工構造	RC1桁
下部工構造	重力式橋台
舗装構造	アスファルト舗装 (t=150mm)
径間数	1径間
橋 長	6.370m
桁 長	6.000m
支間長	-
幅 員	4.450m (全幅)
斜 角	90° 00' 00"
平面線形	R=∞
架設竣工年	2004年 (H16年)
添加物	水道管 φ150 (下流側)
交差物件	水路

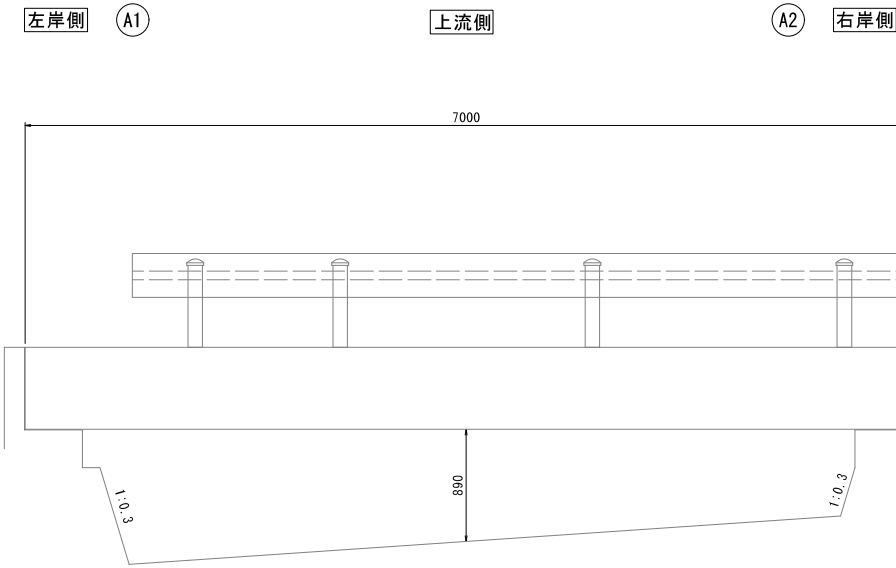
平面図
(橋面)



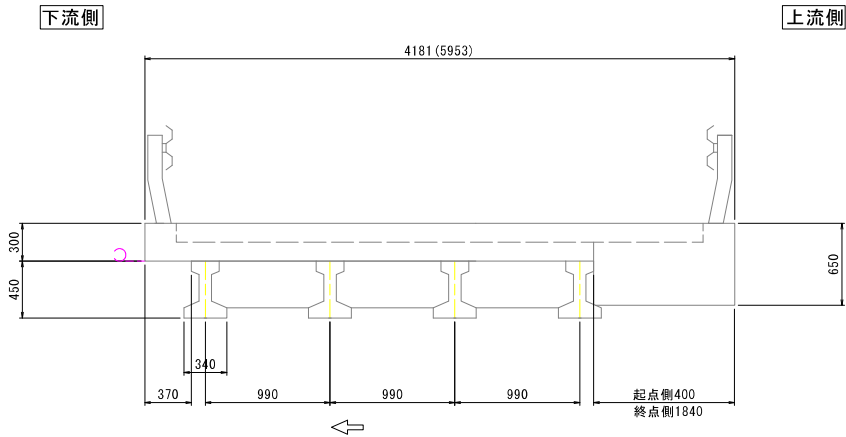
側面図
1-1



側面図
2-2



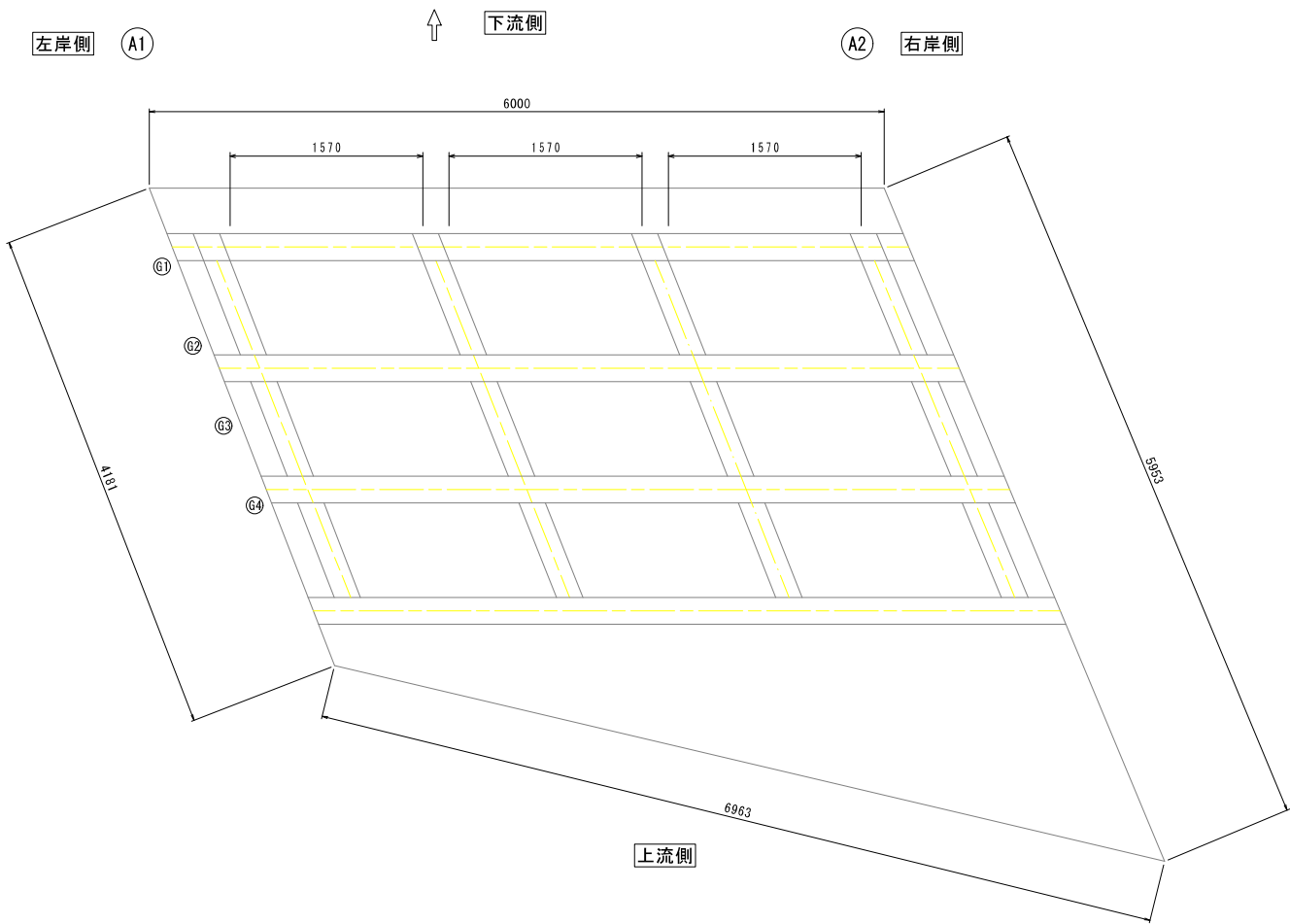
断面図
3-3



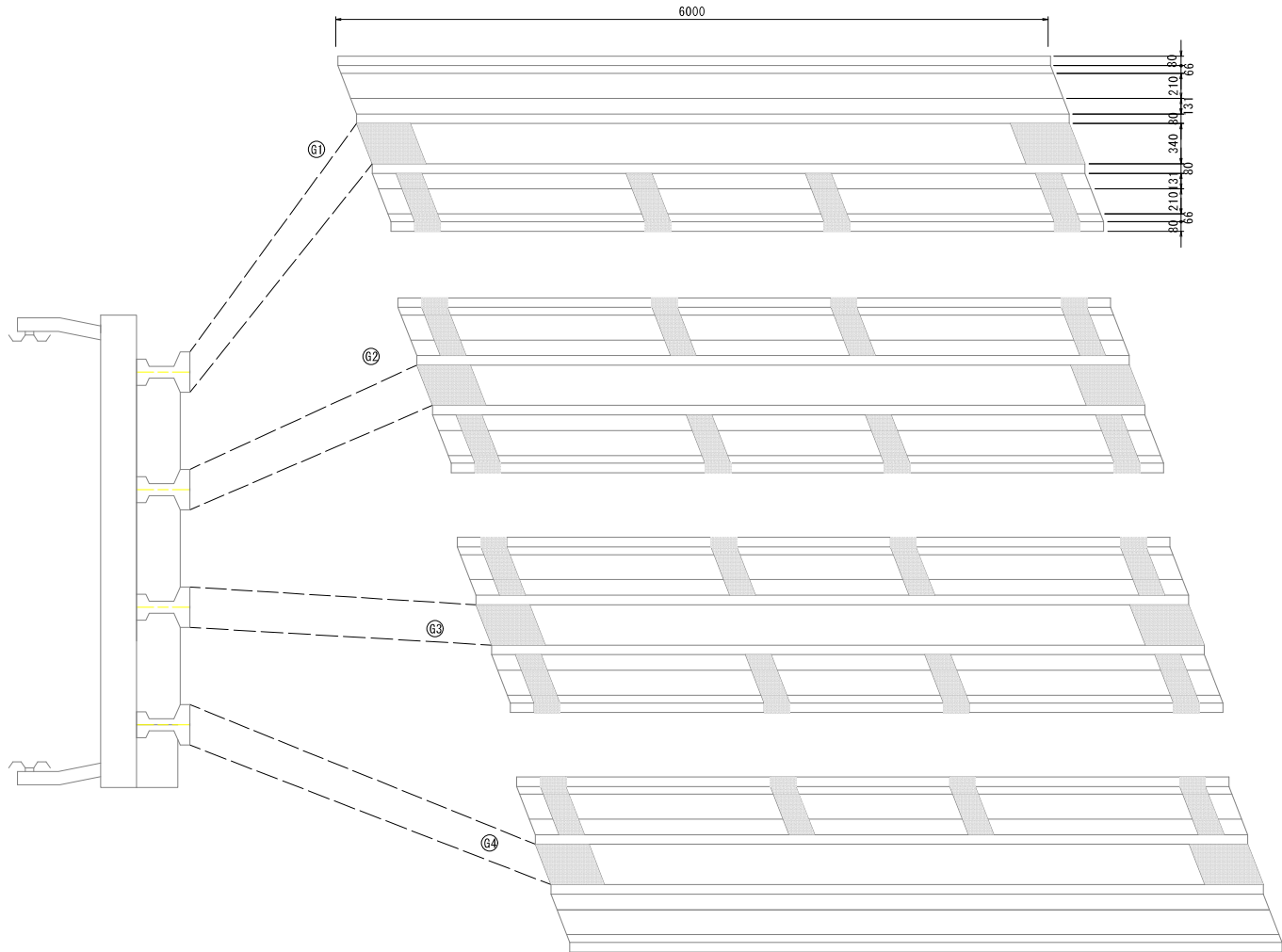
四日市橋			
工事名	令和5年度越橋梁補修設計業務		
図面名	四日市橋 既設橋梁一般図(その1)		
作成年月日	令和6年9月		
縮尺	1:30	図面番号	1 / 12
会社名	相生エンジニアリング株式会社		
事業者名	神石高原町 建設課		

四日市橋 既設橋梁一般図(その2)

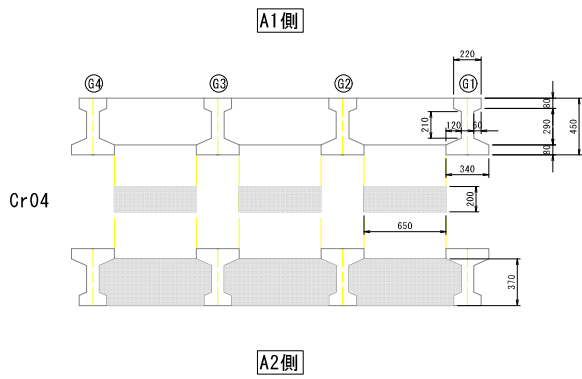
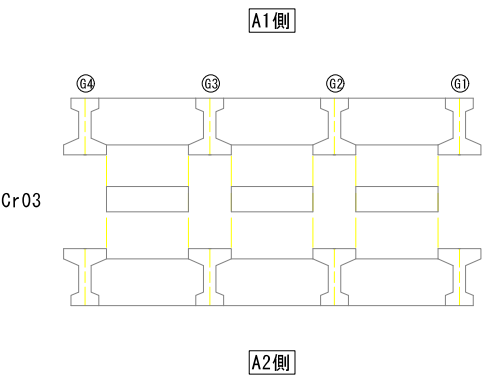
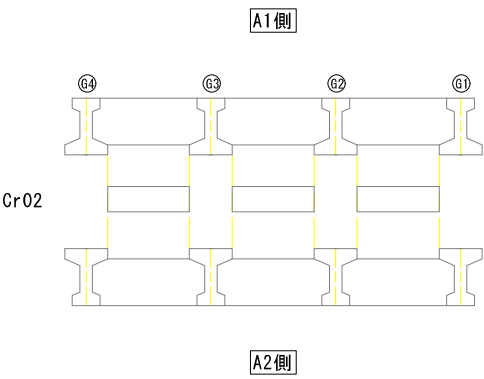
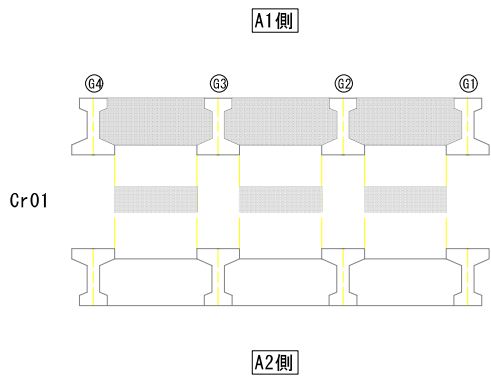
平面図
(床版下面)



展開図
(主桁)



展開図
(横桁)

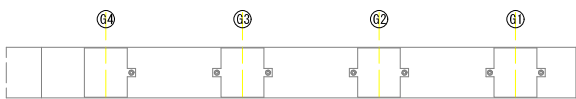


四日市橋			
工事名	令和5年度繰越橋梁補修設計業務		
図面名	四日市橋 既設橋梁一般図(その2)		
作成年月日	令和6年9月		
縮尺	1:30	図面番号	2 / 12
会社名	相生エンジニアリング株式会社		
事業者名	神石高原町 建設課		

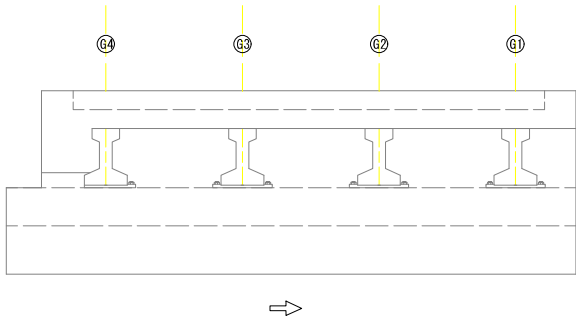
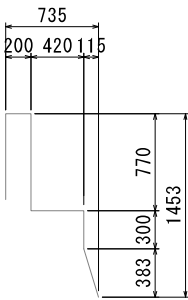
四日市橋 既設橋梁一般図(その3)

A1橋台

平面図(橋座面)

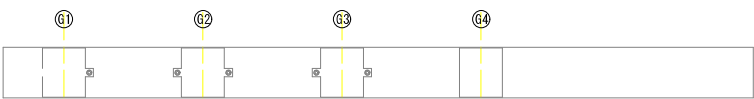


正面図

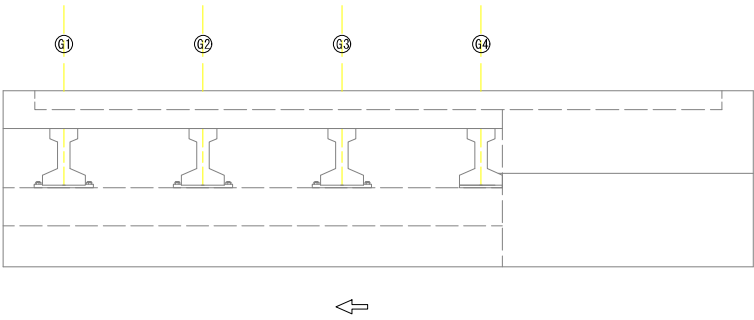
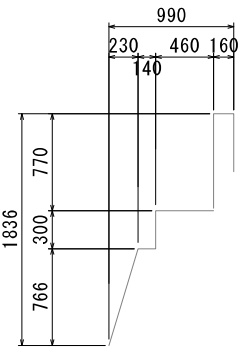


A2橋台

平面図(橋座面)

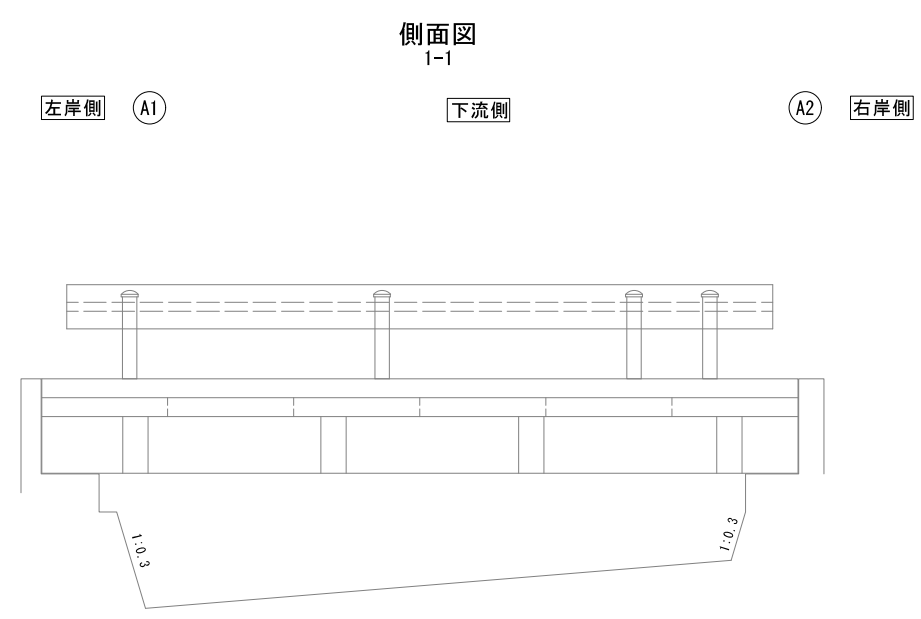
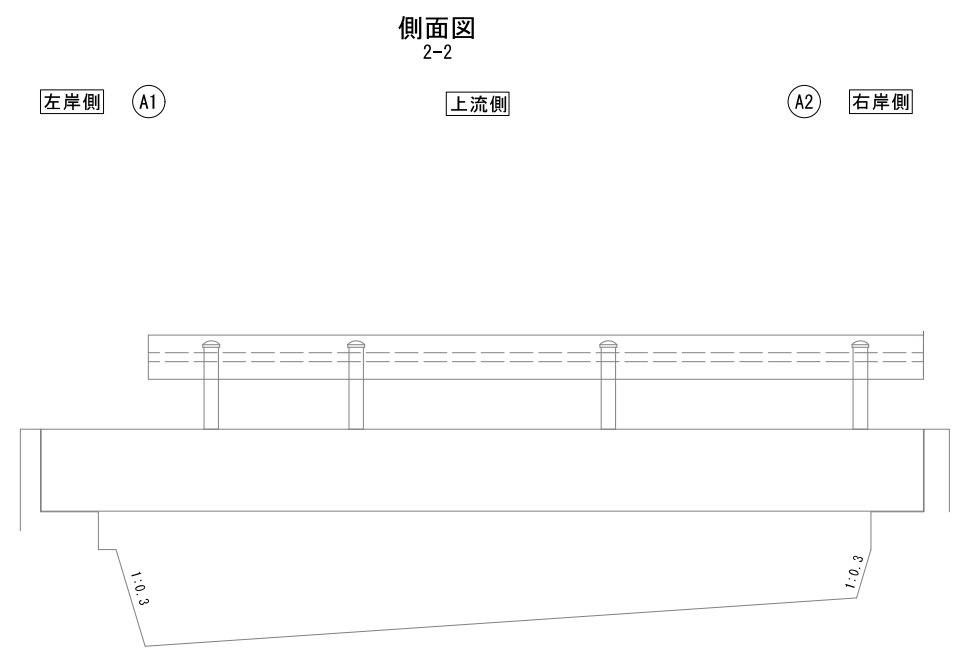
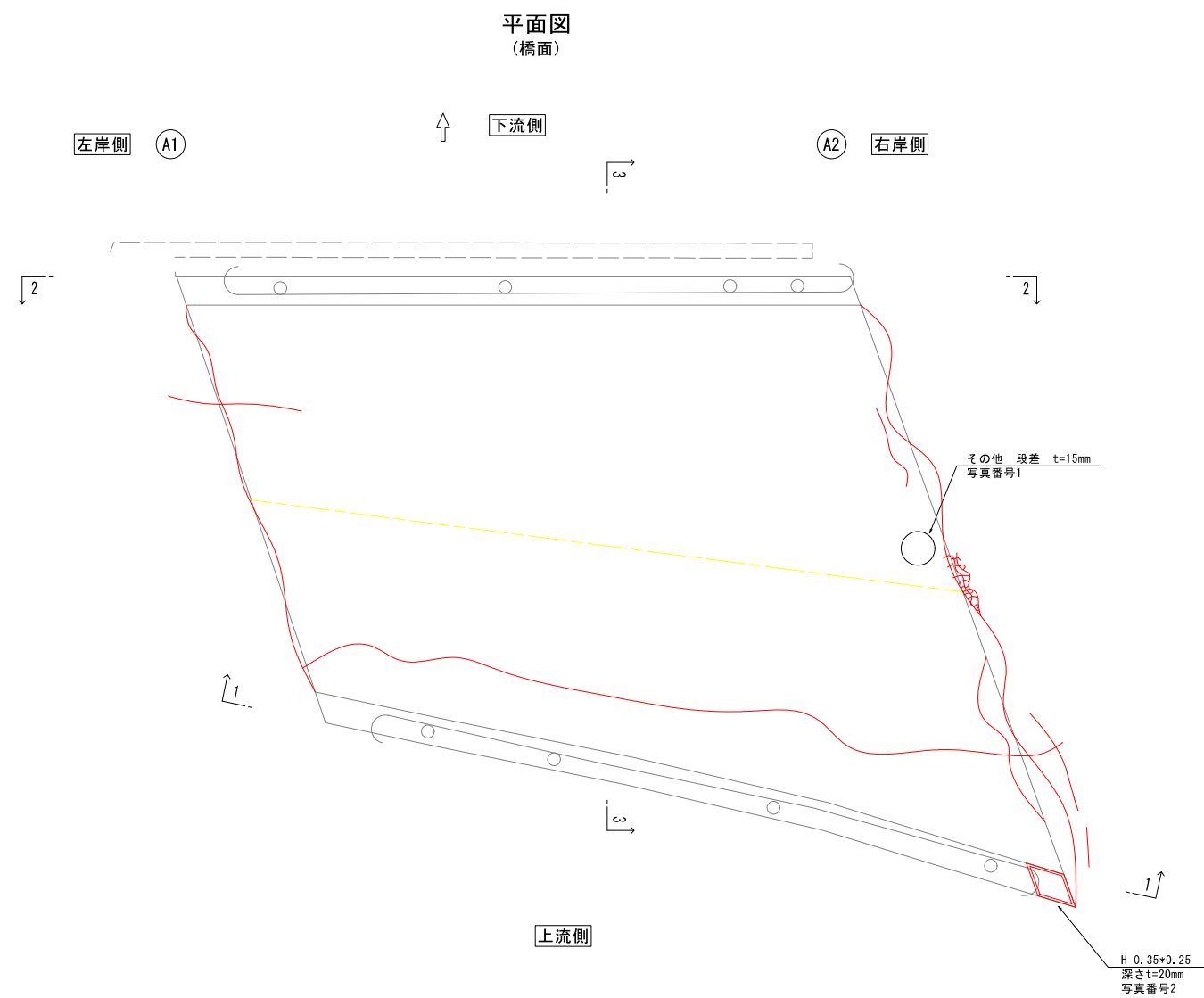


正面図



四日市橋			
工事名	令和5年度越前橋梁補修設計業務		
図面名	四日市橋 既設橋梁一般図(その3)		
作成年月日	令和6年9月		
縮尺	1:30	図面番号	3 / 12
会社名	相生エンジニアリング株式会社		
事業者名	神石高原町 建設課		

四日市橋 損傷図(その1)



凡 例

	C	ひび割れ (0.2~1.0mm未満)		HT	コンクリートの剥離-鉄筋露出
	CY	遊離石灰を伴うひび割れ (0.2~1.0mm未満)		R	漏 水
	C	ひび割れ (1.0mm以上)		M	ジャンカ
	CY	遊離石灰を伴うひび割れ (1.0mm以上)		腐食	鋼部材腐食、塗膜はがれ
	U	コンクリートの浮き		その他	
	H	コンクリートの剥離			

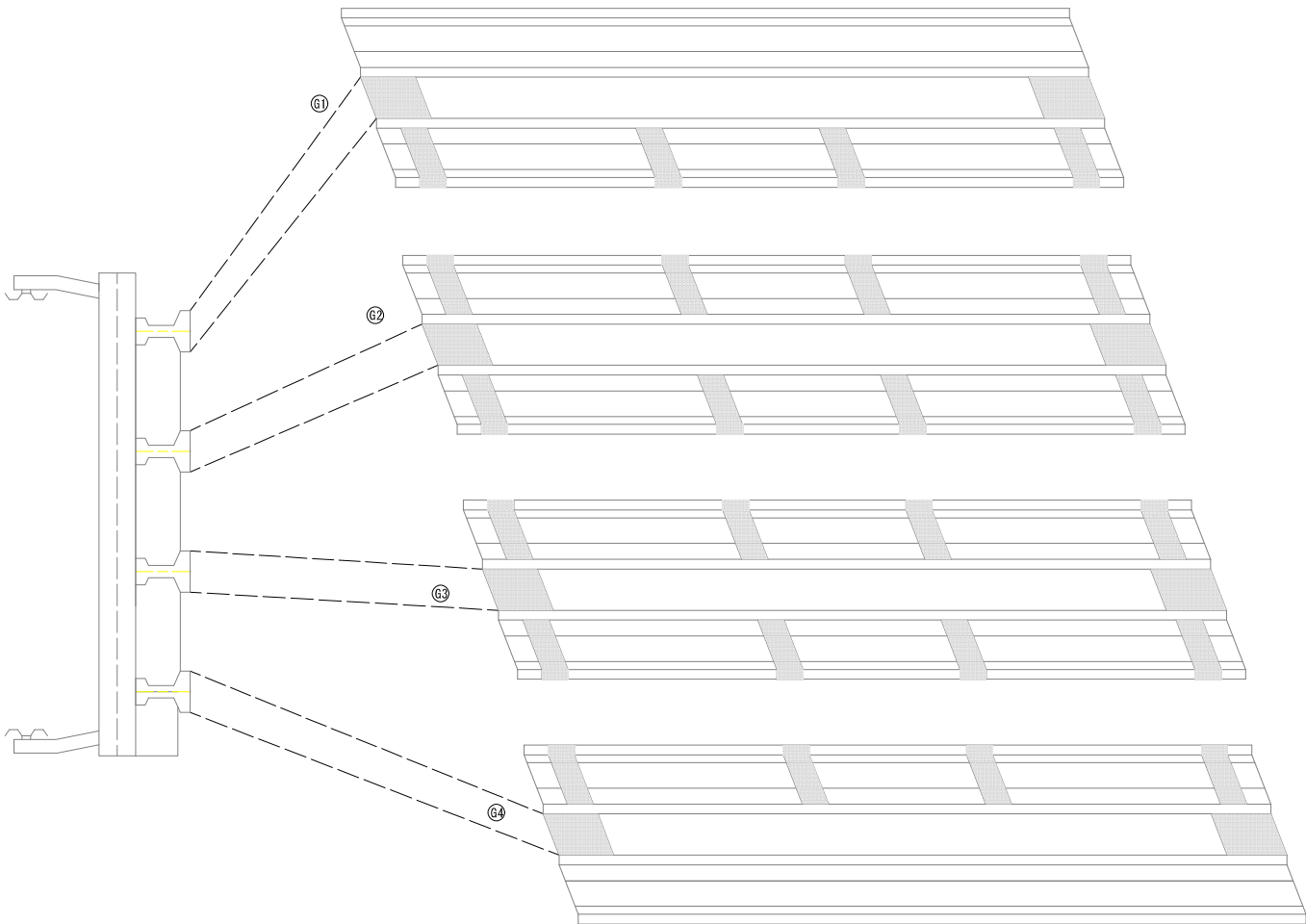
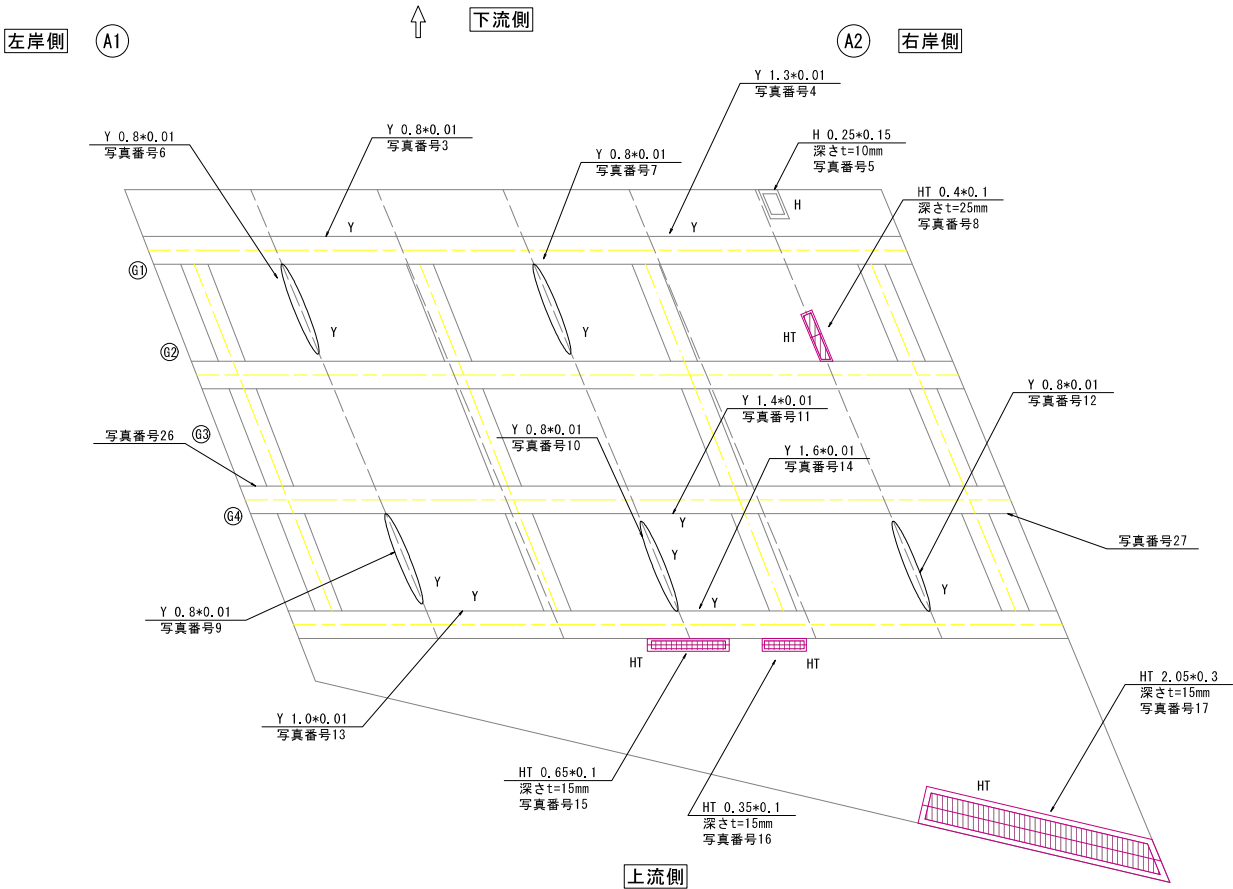
四日市橋			
工事名	令和5年度越前橋梁補修設計業務		
図面名	四日市橋 損傷図(その1)		
作成年月日	令和6年9月		
縮尺	1:30	図面番号	4 / 12
会社名	相生エンジニアリング株式会社		
事業者名	神石高原町 建設課		

四日市橋 損傷図(その2)

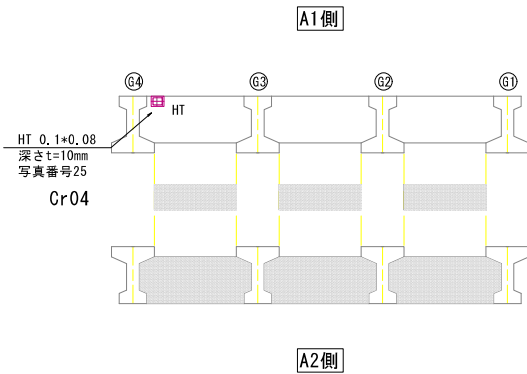
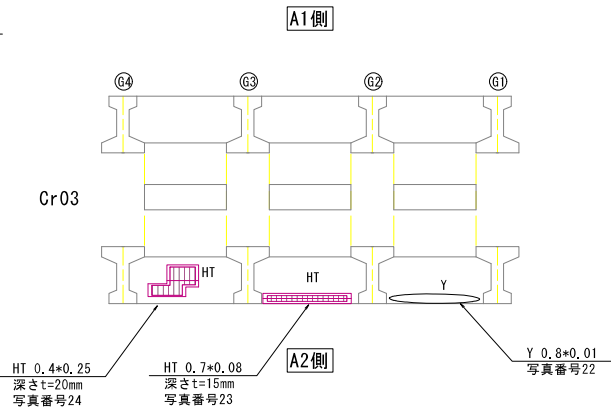
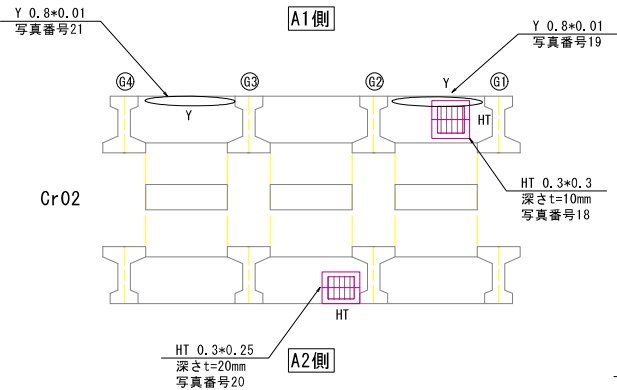
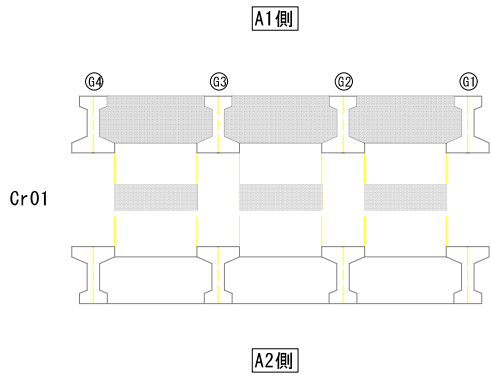
※支承について特記されていない箇所は1腐食-C1とする。
写真-26 写真-27

平面図
(床版下面)

展開図
(主桁)



展開図
(横桁)

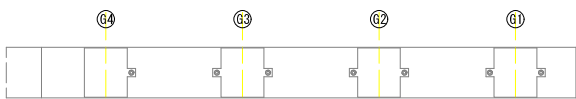


四日市橋			
工事名	令和5年度越前橋梁補修設計業務		
図面名	四日市橋 損傷図(その2)		
作成年月日	令和6年9月		
縮尺	1:30	図面番号	5 / 12
会社名	相生エンジニアリング株式会社		
事業者名	神石高原町 建設課		

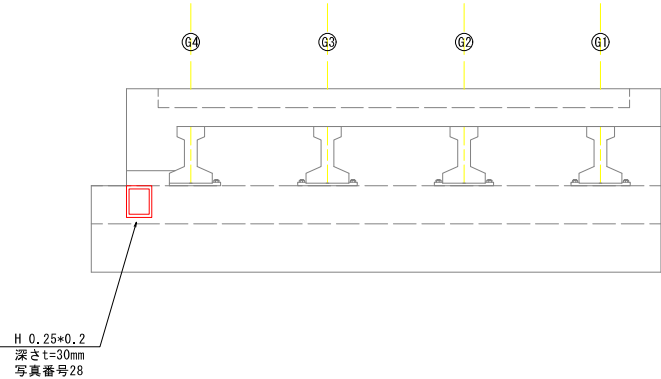
四日市橋 損傷図(その3)

A1橋台

平面図(橋座面)

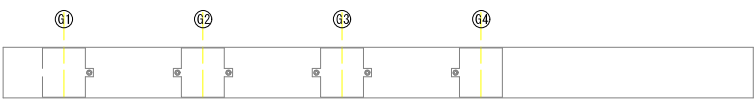


正面図

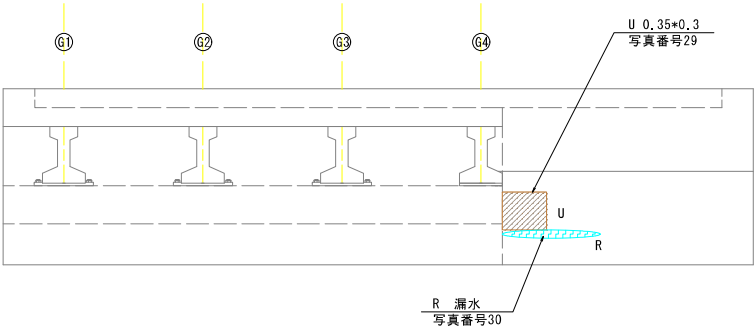


A2橋台

平面図(橋座面)



正面図



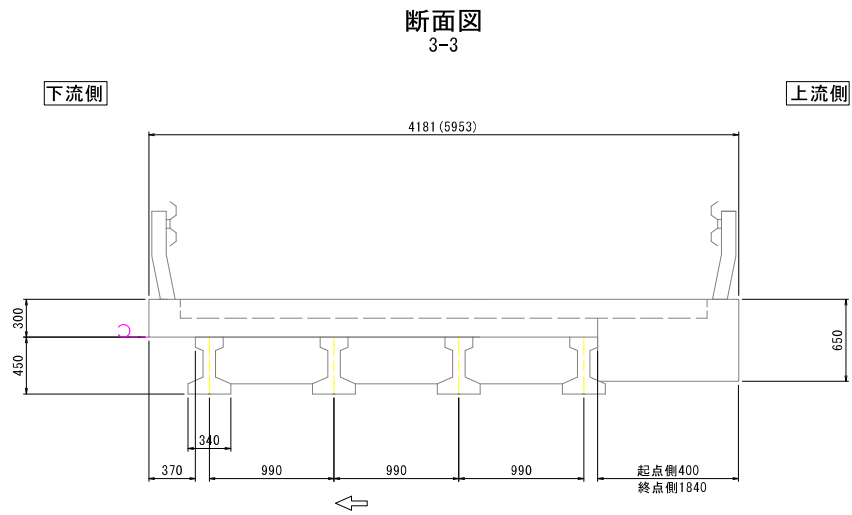
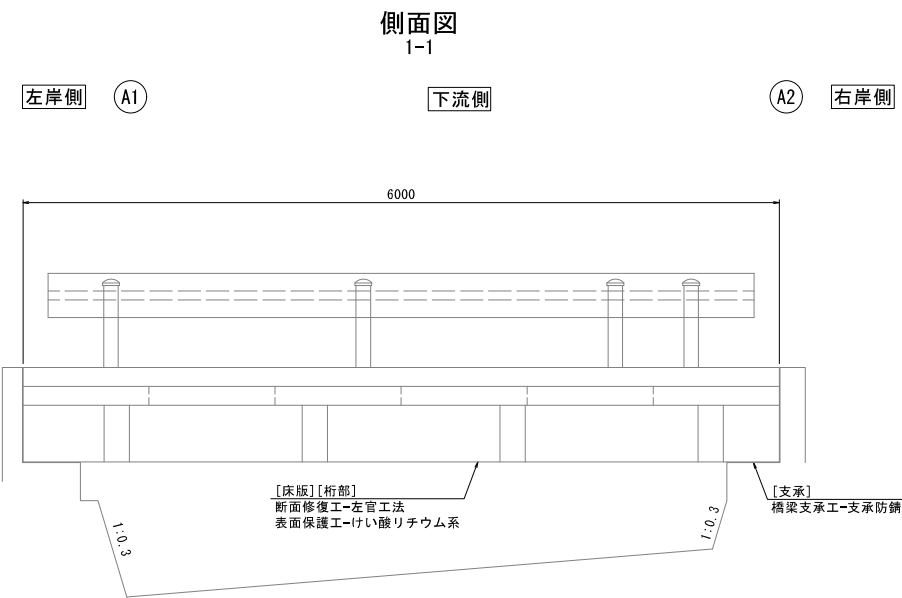
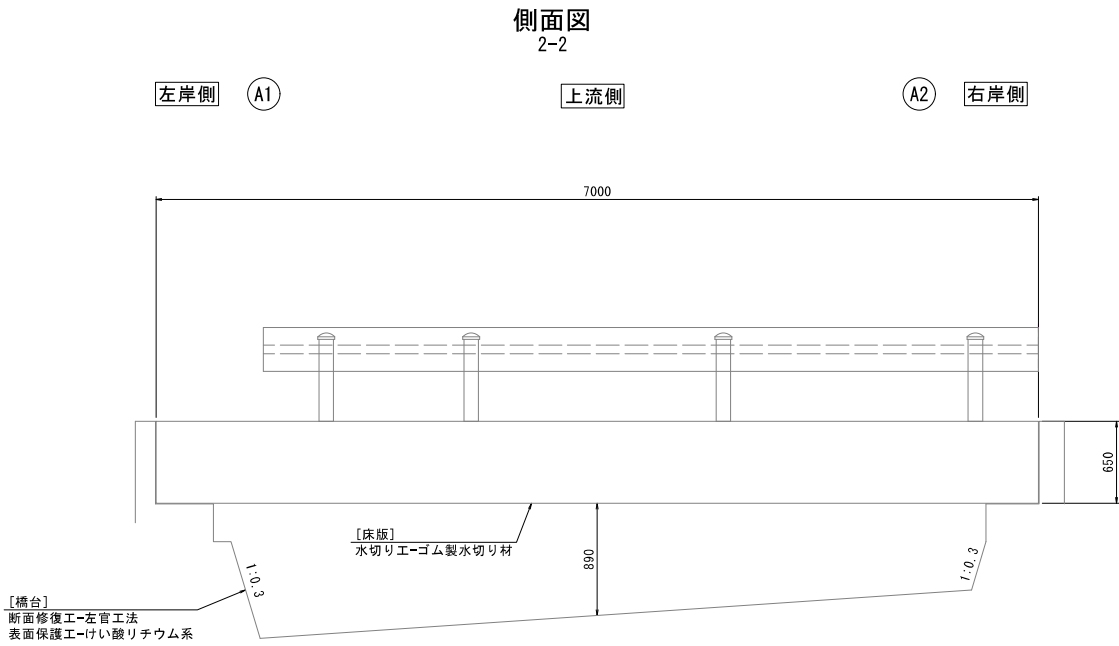
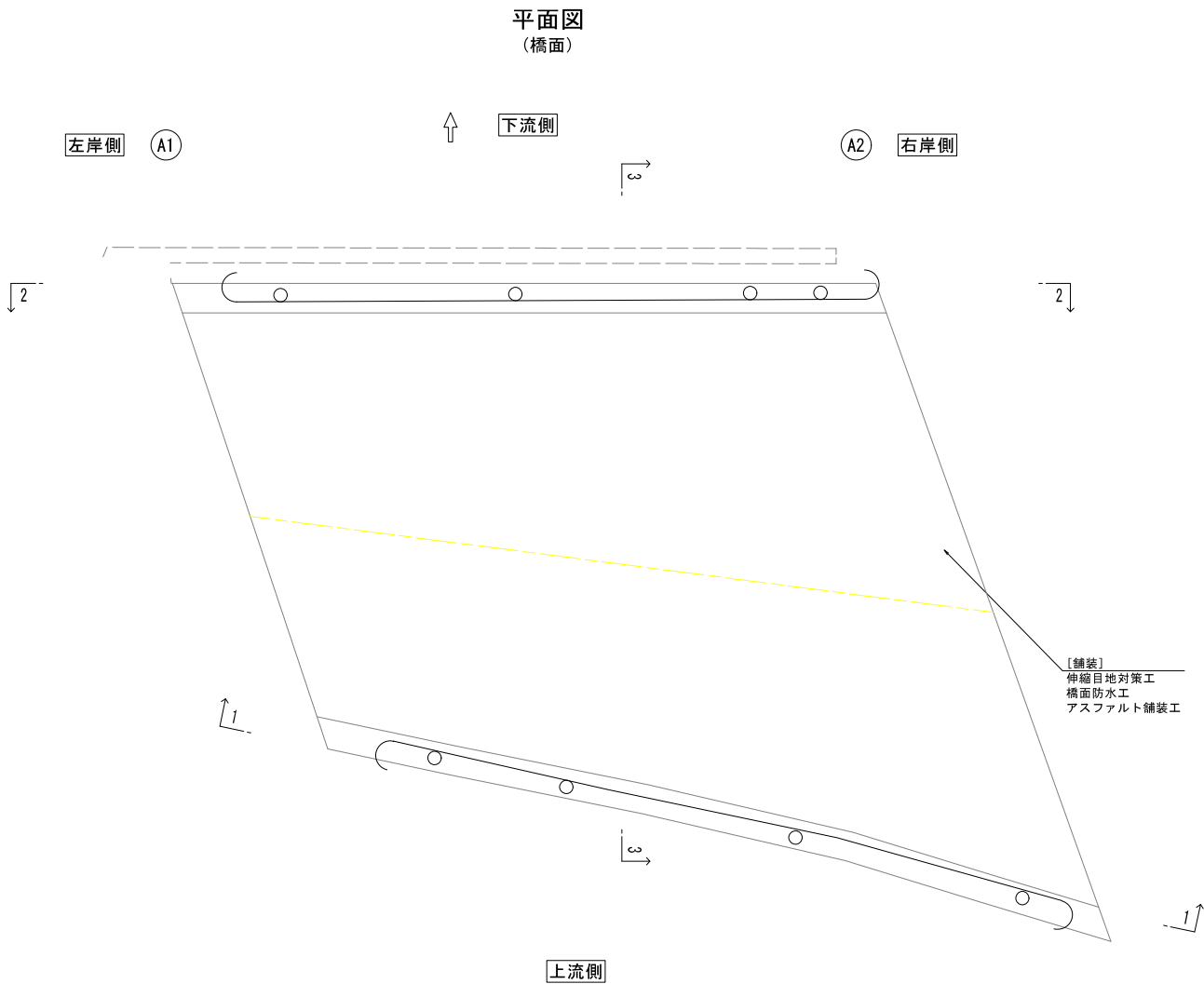
凡 例

	C	ひび割れ(0.2~1.0mm未満)		HT	コンクリートの剥離-鉄筋露出
	CY	遊離石灰を伴うひび割れ(0.2~1.0mm未満)		R	漏 水
	C	ひび割れ(1.0mm以上)		M	ジャンカ
	CY	遊離石灰を伴うひび割れ(1.0mm以上)		腐食	鋼部材腐食、塗膜はがれ
	U	コンクリートの浮き		その他	
	H	コンクリートの剥離			

四日市橋			
工事名	令和5年度繰越橋梁補修設計業務		
図面名	四日市橋 損傷図(その3)		
作成年月日	令和6年9月		
縮尺	1:30	図面番号	6 / 12
会社名	相生エンジニアリング株式会社		
事業者名	神石高原町 建設課		

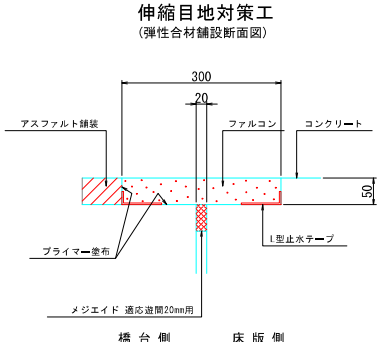
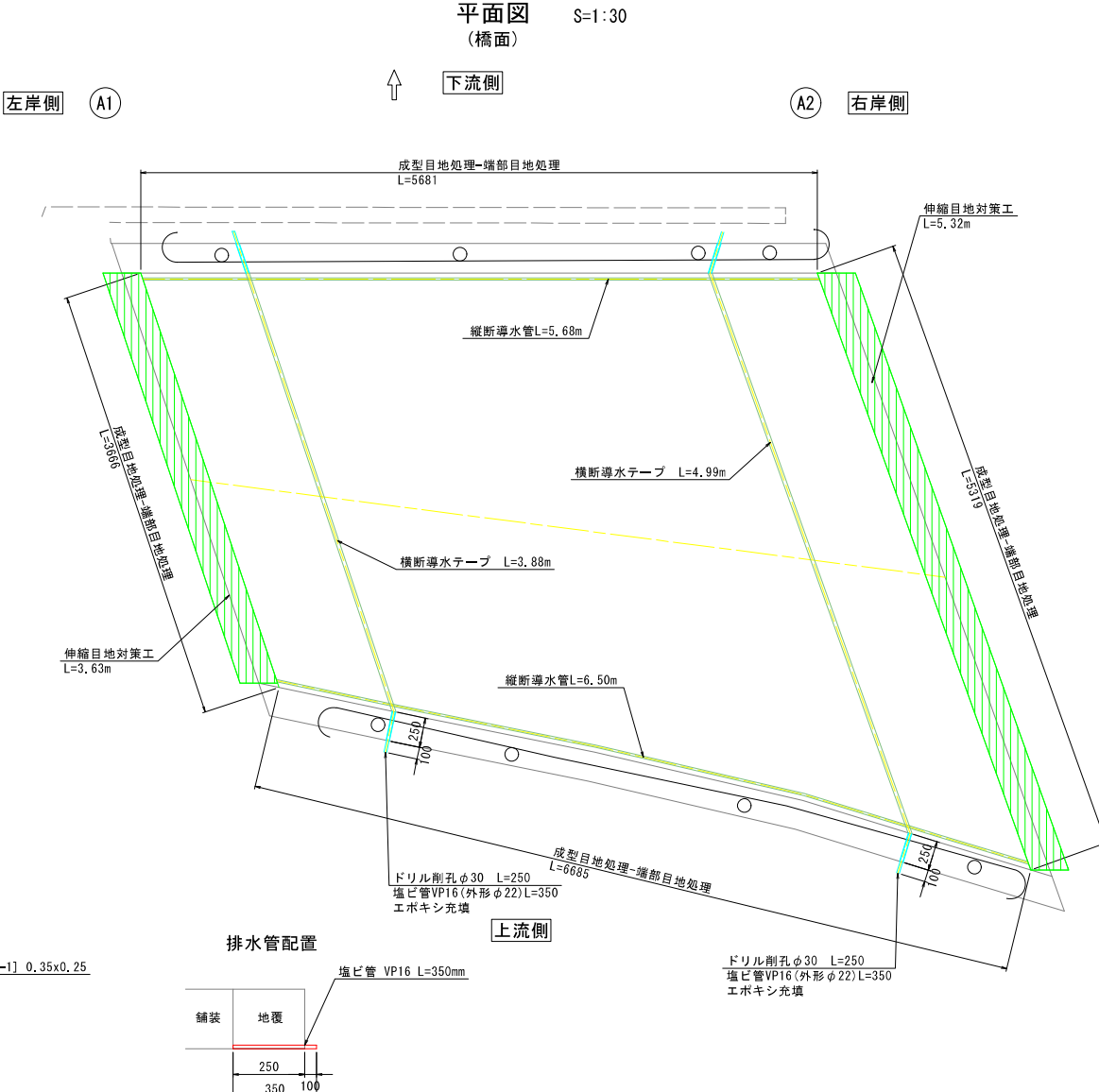
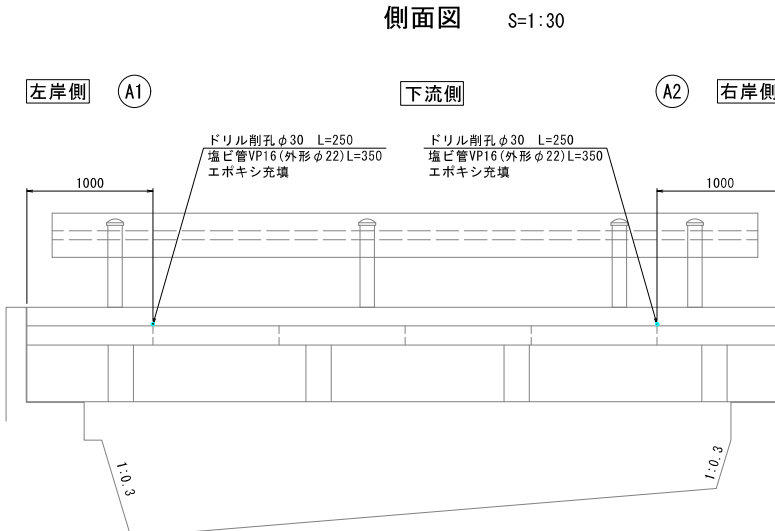
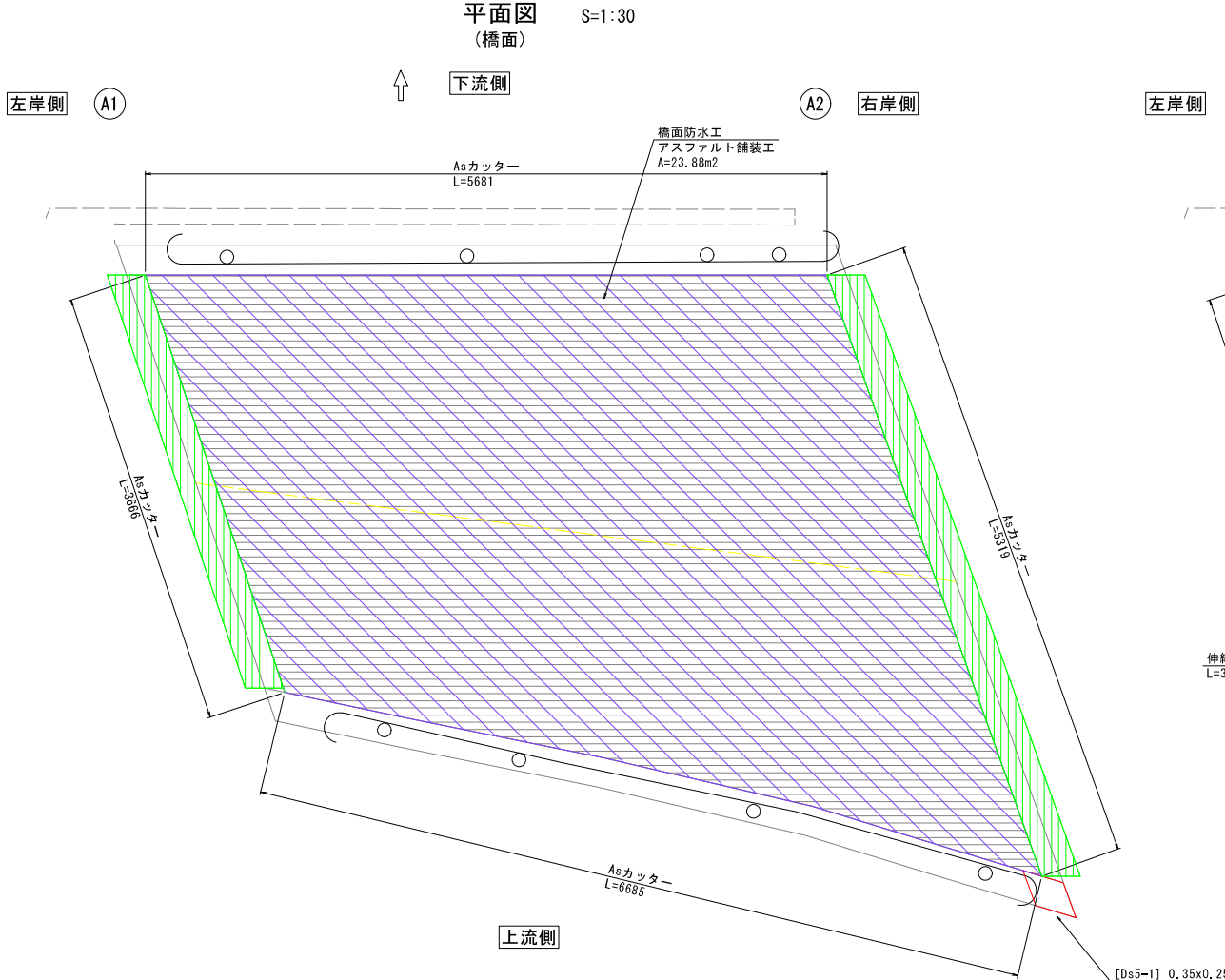
四日市橋 補修計画一般図

補修内容	
補修工法	部位-部材
断面修復工	床版、桁部、橋台
表面保護工	床版、桁部、橋台
水切り工	床版
伸縮目地対策工	路上(舗装)
橋面防水工	路上(舗装)
アスファルト舗装工	路上(舗装)
橋梁支承工	支承



四日市橋			
工事名	令和5年度越橋梁補修設計業務		
図面名	四日市橋 補修計画一般図		
作成年月日	令和6年9月		
縮尺	1:30	図面番号	7 / 12
会社名	相生エンジニアリング株式会社		
事業者名	神石高原町 建設課		

四日市橋 補修図(その1)



注1) 仕様-諸手法-適応の可否は、現地で再調査及び照査の上、決定のこと。

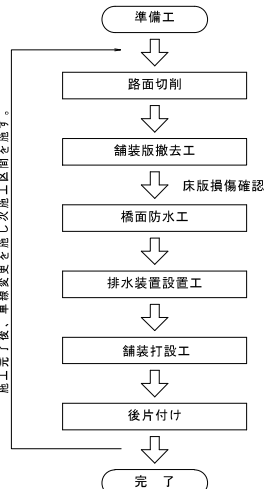
注2) ファルコン舗設技術部については、必要に応じて超速硬無収縮モルタル等にて補修及び不陸調整を行うこと。

注3) ファルコンを舗設する際には、L型止水テープを使用すること。

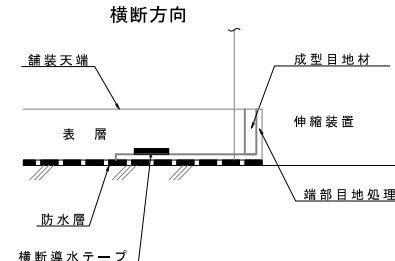
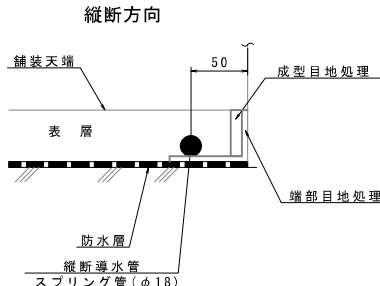
注4) L型止水テープは施工箇所を囲むようにファルコン舗設幅分も設置すること。

注5) 既設伸縮装置は、ノージョイントを想定。

施工フロー







橋面防水工



防水層の施工に対する留意点

- ※ 本図面は、現地計測及び既存資料をもとに作成した図面である。
- ※ 施工前には周辺住民に説明を行いご理解ご協力を得ること。
- ※ 施工時には河川の水位、天候に十分注意をすること。
- ※ 施工に先立ち接着層表面の乾燥状態をよく確認しておくとともに
ごみ、どろ、その他の有害物は撤去清掃しておくこと。
- ※ 補修工事に当たり、各工種とも現地詳細調査を実施し施工寸法
及び数量を確定すること。
- ※ 舗装撤去後、著しく床版上面が損傷している場合は
別途対策を講じること。（要発注者協議）
- ※ 導水管の継手重なりは、50cm以上とする。
- ※ 流末部に確実に流水されるよう、現地にて
調整コンクリート勾配を調整し配置すること。
- ※ 計画道路高さ、天候、気候などの気象条件を確認して施工すること。
- ※ 施工にあたっては温度管理、養生、施工面の処理、排水樹付近
に対しては十分注意すること。
- ※ 詳細については「道路橋床版防水便覧」（日本道路協会）を参考にすること。

凡例

	橋面防水工
	As舗装工
	断面修復工(左官工法)
	伸縮目地対策工

路面切削工 / アスファルト舗装工 材料表

名 称	形 状 材 質	単 位	数 量	内 訳	備 考
Asカッター		m	21.35	3.67+5.68+6.68+5.32	
As舗装	t=80mm	m ²	23.88	図面参照	
		m ²	1.91	23.88×0.08	

橋面防水工 材料表

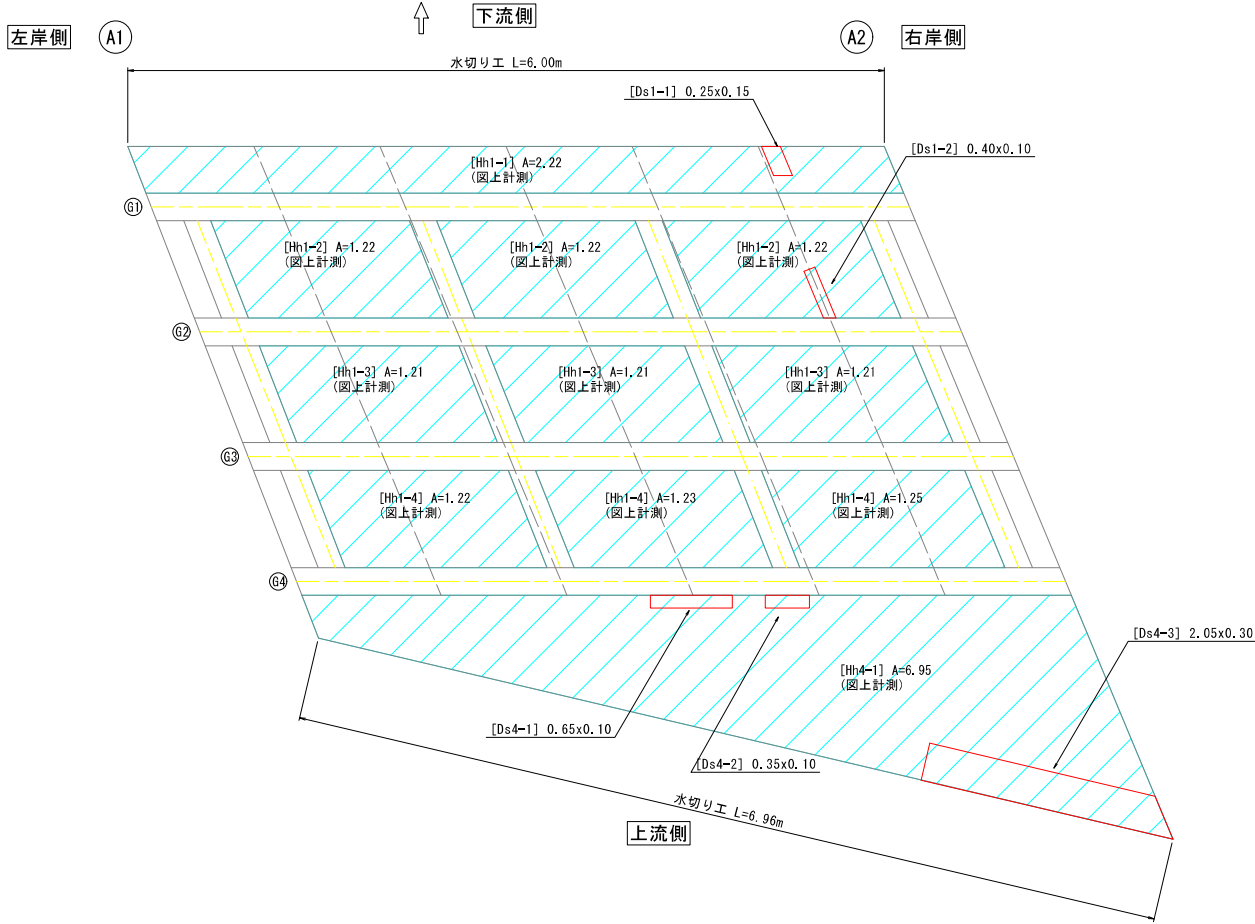
名 称	形状 材質	単 位	数 量	内 訳	備 考
防水層	塗膜防水層	m ²	23.88	図面参照	アスファルト加熱型
縦断導水管	φ18	m	12.18	6.50+5.68	
横断導水テープ		m	8.87	3.88+4.99	
目地処理		m	21.36	3.67+5.68+5.32+6.69	セロシールSS 相当品
端部目地処理		m	21.36	3.67+5.68+5.32+6.69	シルパーメッシュ 相当品
現場削孔	削孔径φ30	箇所	4		200mm以上
塩ビ管	VP16	m	1.40	0.35×4	樹脂製
エポキシ樹脂	1種	kg	0.45	計算書参照	

四日市橋			
工事名	令和5年度繰越橋梁補修設計業務		
図面名	四日市橋 補修図(その1)		
作成年月日	令和6年9月		
縮尺	図示	図面番号	8 / 12
会社名	相生エンジニアリング株式会社		
事業者名	神石高原町 建設課		

四日市橋 補修図(その2)

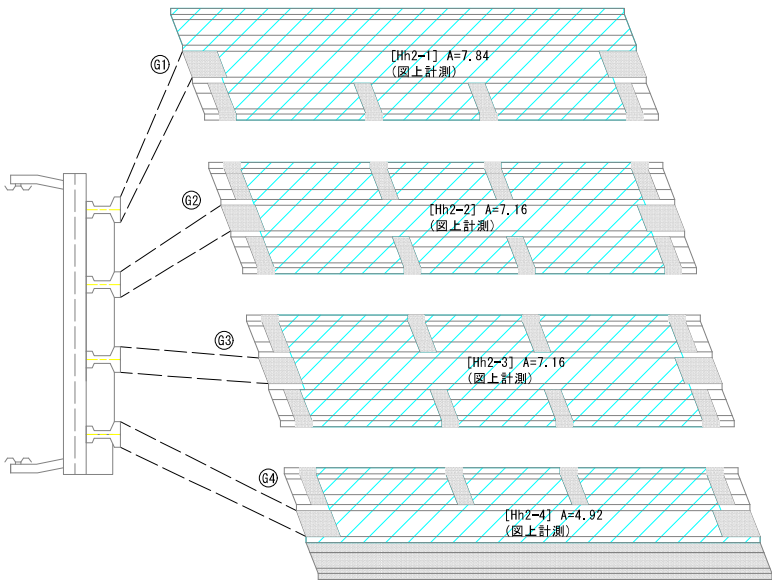
平面図
(床版下面)

S=1:30

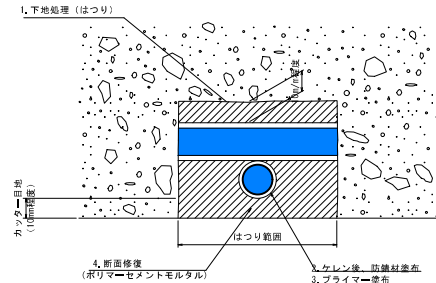


展開図
(主桁)

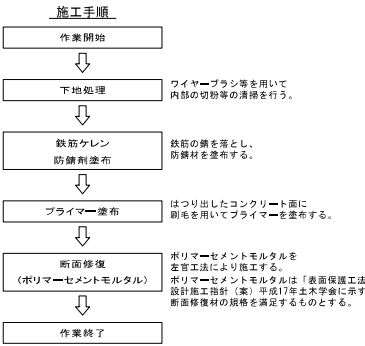
S=1:50



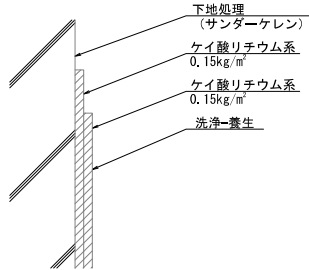
断面修復工
(左官工法)



注) 鉄筋周辺のうきおよび劣化したコンクリートは除去すること。
※ 断面修復工は、原則復旧を基本とする。
※ 材料は、可使時間内に使用し、可使時間を過ぎたものについては使用しないこと。
※ フェザ=エッジの発生防止のため、コンクリートカッターによりカッタ=目地を垂直に施工する。



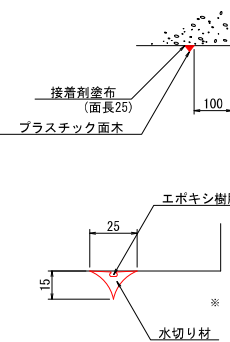
表面保護工
(ケイ酸リチウム系表面含浸材)



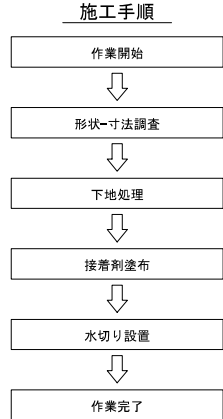
※ 表面保護材はケイ酸リチウム系表面含浸材とする。
※ コンクリート表面のサンダーケレンは十分に行うこと。
※ 気温5℃以下では施工しないこと。
※ 標準塗布量：0.30kg/m²以上とすること。
※ 含浸材塗布後の洗浄は十分に行った後、表面を乾燥させること。
※ 材料は可使時間内に使用し、可使時間を過ぎたものについては使用しないこと。



水切り工
(後付け型水切り材)



※ 水切り設置面のコンクリートは、平面的なよう調整を行うこと。

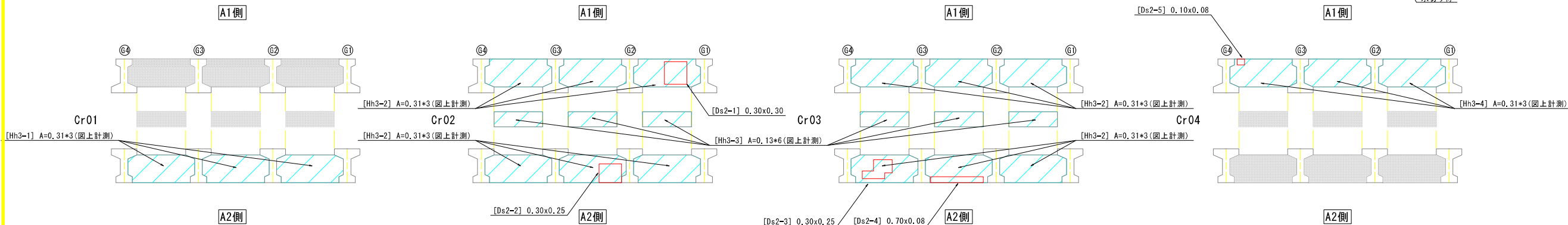


凡 例

	断面修復工 (左官工法)
	表面保護工 (表面含浸工法)

展開図
(横桁)

S=1:30

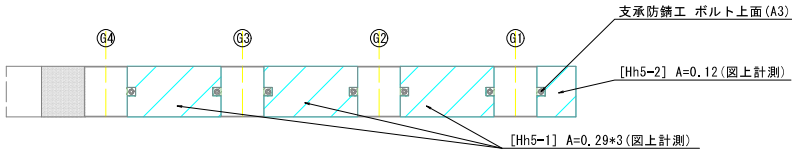


四日市橋	工事名	令和5年度緑越橋梁補修設計業務
四日市橋 補修図(その2)	図面名	
令和6年9月	作成年月日	
図示	縮尺	図面番号 9 / 12
相生エンジニアリング株式会社	会社名	
神石高原町 建設課	事業者名	

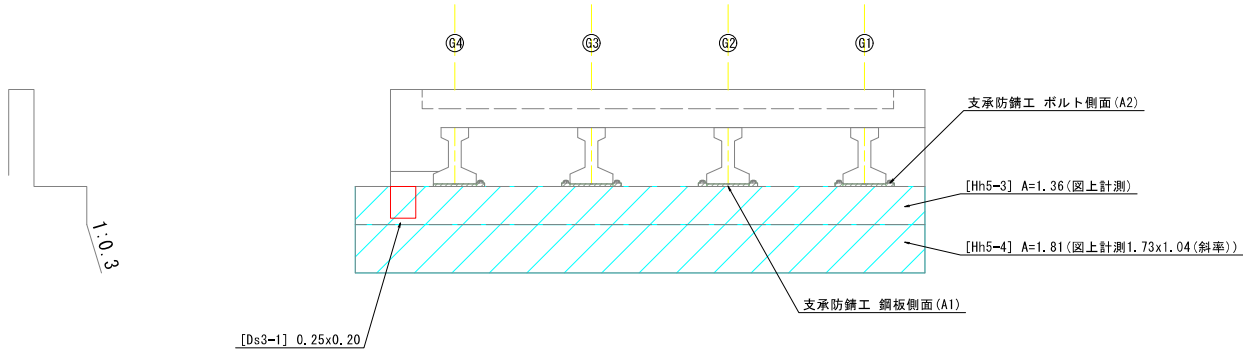
四日市橋 補修図(その3)

A1橋台

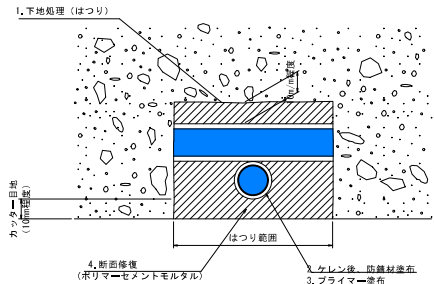
平面図(橋座面)



正面図

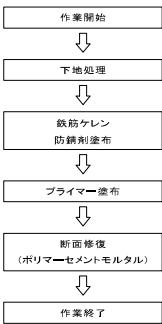


断面修復工
(左官工法)

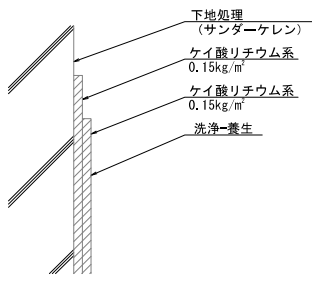


注 ※ 鉄筋周囲のうきおよび劣化したコンクリートは除去すること。
※ 断面修復工は、原型復旧を基本とする。
※ 材料は、可長時間内に使用し、可長時間を過ぎたものについては使用しないこと。
※ フェザーエッジの発生防止のため、コンクリートカッターによりカッター目地を垂直に施工する。

施工手順

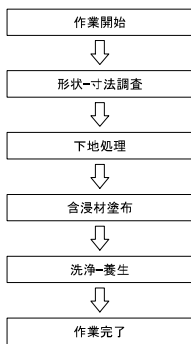


表面保護工
(ケイ酸リチウム系表面含浸材)



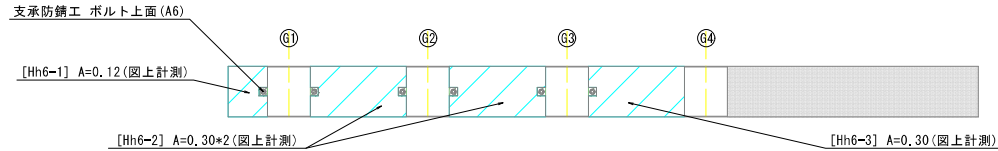
※ 表面保護材はケイ酸リチウム系表面含浸材とする。
※ コンクリート表面のサンダーケレンは十分に行うこと。
※ 気温5℃以下では施工しないこと。
※ 標準塗布量：0.30kg/m²以上とすること。
※ 含浸材塗布後の洗浄は十分に行った後、表面を乾燥させること。
※ 材料は可長時間内に使用し、可長時間を過ぎたものについては使用しないこと。

施工手順

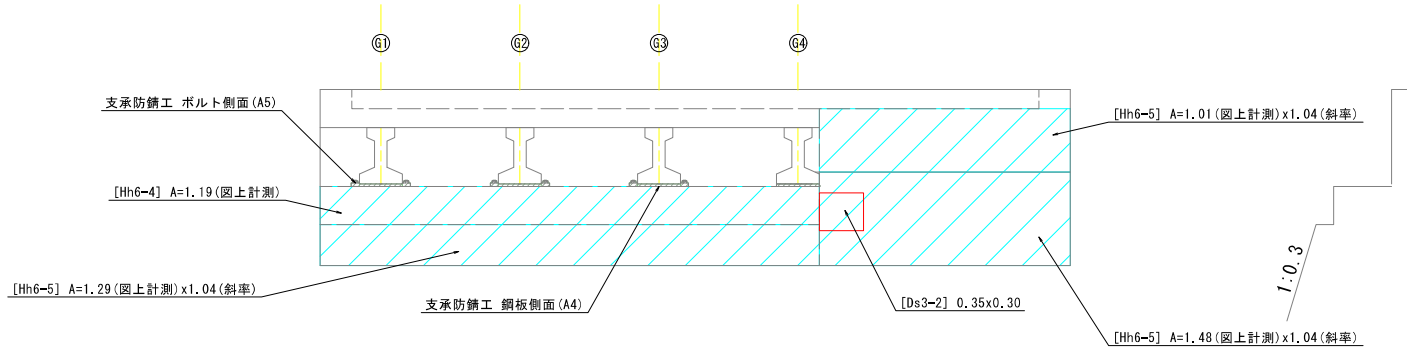


A2橋台

平面図(橋座面)



正面図



支承防錆工 面積表

部 位	計算書番号	単 位	数 量	内 訳
A1側 鋼板側面	A1	m ²	0.0272	0.0068x4箇所
A1側 ボルト側面	A2	m ²	0.0364	0.0026x7箇所x2面
A1側 ボルト上面	A3	m ²	0.0294	0.0042x7箇所
A2側 鋼板側面	A4	m ²	0.0272	0.0068x4箇所
A2側 ボルト側面	A5	m ²	0.0312	0.0026x6箇所x2面
A2側 ボルト上面	A6	m ²	0.0252	0.0042x6箇所
合 計		m ²	0.1766	

凡 例

	断面修復工(左官工法)
	表面保護工(表面含浸工法)
	支承防錆工

四日市橋			
工事名	令和5年度線越橋梁補修設計業務		
図面名	四日市橋 補修図(その3)		
作成年月日	令和6年9月		
縮尺	図示	図面番号	10 / 12
会社名	相生エンジニアリング株式会社		
事業者名	神石高原町 建設課		